



図 3-2- 18 海ワシ類の衝突連続画像(10~12)

(平成 26 年 1 月 29 日、羽幌側カメラによる拡大画像)

### 3.3 海ワシ類の医学的剖検結果

傷病、死骸等で発見された海ワシ類は、環境省釧路湿原野生生物保護センター（Kushiro-shitsugen Wildlife Center : <http://www.env.go.jp/nature/yasei/guide/yaseiseibutsu.html>）に搬送される。発見事例別に調査票が作成され（これを処理簿と呼ぶ）、その後、死亡した個体および死骸で持ち込まれた個体は、獣医師によって解剖検査が行われ（これを剖検と呼ぶ）、解剖所見が作成される。

今年度は猛禽類医学研究所により 4 個体の剖検が行われたので、以下にそれを掲載する。

（個人情報保護の観点から一部をマスクングしています）

## オジロワシ剖検所見

標本 ID ind1000490  
個体番号 13-宗-WTE-1  
収容年月日 2013年6月3日  
収容場所 稚内市 [REDACTED]  
一次収容者 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] 東南東方向約  
30m 付近  
二次収容者 北海道地方環境事務所 [REDACTED]  
三次収容者 環境省釧路湿原野生生物保護センター  
収容時の状態 死体  
保存状態 冷凍  
収容時の状況 2013年6月3日 風車番号 W-15 の東南東方向約 30m 付近にて発見さ  
れた。なお同日、同風車下にて別のオジロワシの死体も回収されている。  
被検体 オジロワシ 幼鳥 性別不明  
保存検体 尾羽を DNA 判定用に別途保存する。  
剖検日 2013年6月12日  
剖検者  
渡辺有希子 猛禽類医学研究所 (副代表 獣医師)

### 1) 外貌および剖検所見

被検体は羽装からオジロワシの幼鳥と判定する。全身が著しく乾燥し、ほぼミイラ化している。各所に皮膚の裂開および損失を認め、ほぼ全域に渡り筋組織および内臓は消失し、骨が露出する。残存する皮膚や羽内には蛆を含む多数の昆虫が付着している。

残存する部位を以下に記述する。

頭部—頸部右側に残る一部の皮膚により頭部が体部とかりうじて繋がっている。皮膚は著しく乾燥し、筋肉は消失し、頸骨が露出する。

体躯—前胸部左側の皮膚の裂開により烏口骨、鎖骨、上腕骨の基部が露出する。胸腹部右側の皮膚は残存するが、乾燥を認める。背側面の皮膚はほぼ全域に渡り欠損する。皮下の筋肉は食害により消失し、骨が露出する。

肋骨は左右とも尾側3本を残し、他は損失する。

脊椎から骨盤、尾椎に至るまで皮膚および筋組織が欠損し、骨が露出する。椎骨などに筋組織の一部が乾燥した繊維状に残存していることから、該当部は鳥類による食害が疑われる。

脚部—左右とも乾燥した皮膚と羽毛のみが残存し、筋肉は食害により損失する。露出した鱗状皮膚部は、水腫様の変性を認め濃茶色に変色するが、左足の第3指には皮

膚の発赤が認められた。また左第2指、右第1指および第4指の爪は外殻が剥離していた。

翼 ー左側上腕は背側部遠位にて皮膚の裂開を認め、上腕骨が露出する。左側橈尺骨は近位から半分の位置および遠位部において皮膚の裂開を認め、骨が露出する。左側手根部において皮膚が裂開し、多数の蛆が付着する。

右側上腕骨は基部にて縦骨折を認める。さらに上腕骨中央部にて骨折、離断を認め、上腕骨は近位側約10 cmを残し以遠は骨が消失するが、皮膚で体部とつながっている。残存する上腕骨は食害により全域が露出している。右側橈尺骨は内側において近位より2/3が裂開、骨が露出し、外側においても近位から1/3が裂開、骨が露出する。右側手根部は、内側に皮膚が裂開し中央にて骨折、離断を認める。

## 2) 考察

被検体は乾燥が著しく(ミイラ化)、昆虫や鳥類などによる食害により筋肉や内臓が損失しているため、死因の特定は困難である。死亡時期も推定は困難であるが、全体的な乾燥が著しいことから、死後かなり時間が経過していると推察される。脚部の皮膚が水腫様に変性した後に乾燥した形跡があることから、雪に埋もれていた可能性も考えられる。

右上腕骨の基部において認めた縦方向の骨折は通常は発生しにくく、かなり強力な外力によって形成されたものである。この骨折は、自ら面的な構造物に衝突したり、落下して地上に激突したりした際に生じる骨折よりもはるかに重度のものである。また他にも右上腕骨中央部の骨折・離断、右手根部中央における骨折・離断といった複数個所にわたって重度の損傷を認めることと、収容現場の状況を合わせて鑑みて、被検体は飛翔中に右翼が風車のブレードと衝突したと考える。

## 3) 診断

被検体は、風力発電用風車の回転するブレードと接触し、死に至った可能性が高いと診断する。